

第1回目英作課題（観光通訳ガイド視点の英作セミナー）

- 1 松山市は人口約51万人の都市で、愛媛県の県庁所在地です。又四国で一番大きな都市です。日本全国で約9百ほど、市レベルの自治体がありますが、人口数で言えば全国第23位になりますので、結構大きな都市になります。
- 2 気候は年間を通じて温暖で、年平均気温16.5度、年間降水量1,300mm。晴れの日が多いです。よく住みやすい街だと言われてます。例えば、人々の通勤通学時間が全国一短いのだそうです。ある調査によると、それは20分で、東京が39分なのでその半分です。家賃も安いようです。
- 3 松山と言えば、俳句が有名です。この町は俳句のメッカと言えます。俳句と言うのは17文字で構成される短い詩です。おそらく世界で一番短い詩（形）でしょう。正岡子規という人物が1867年に、この松山に生まれたのですが、この人物が当時陳腐化し崩壊の危機にあった俳句をよみがえらせたのです。彼は病のために35歳と言う若さで亡くなりましたが、俳句を蘇生させた偉大な人物として評価されています。そのようなこともあり、ここは俳句が盛んで、市内には500基以上の句碑がっています。
- 4 もう一人の人物についても触れなければなりません。それは夏目漱石という小説家です。近代日本文学の巨匠です。彼は正岡子規の友人です。生まれは東京です。正岡子規とは同じ年に生まれています。1867年、すなわち江戸時代の最後の年です。彼が小説家になる前に一度松山に住んだことがあります。松山中学の英語教師として赴任したのです。120年以上前の話です。彼は後年「坊ちゃん」と言う題の小説を書きました。坊ちゃんと言うのは、裕福な家で生まれ育った青年といったふうの意味です。その小説の舞台が松山です。松山市内のいたるところで、この小説「坊ちゃん」を想起させるモノやコトを目にするとおもいます。
- 5 予定では、このツアーは午後2時半に松山港（岸壁）着ということになっています。もし離団（グループから離れて自由行動する）希望の人がいれば、その旨を私にお知らせください。キャビン番号（船内客室番号）とお名前を教えてください。それをせずに勝手に離団しますと、他の人に迷惑がかかります。予定時刻にバスがスタートできません。で、離団後は船に戻るのは自己責任でお願いします。タクシーを使えば、市内の中心部からだと、時間は約20分、料金は約2000円～2500円くらいだと思います。

(松山城)

- 6 皆さんこの図をご覧ください。今私たちはここに立っています。これから天守閣に向かって歩いていきます。この場所は一の丸と呼ばれています。ここを見て下さい。この山のふもとのここに二の丸があります。ここは昔殿様が住んでいました。又政務庁舎がありました。殿様はこの天守閣に住んでいたわけではありません。しかし時には訪ねて行ったことがあったかもしれませぬ。
・ ・そしてここが三の丸と呼ばれていたところです。ここには高い身分の侍の屋敷がありました。今は公園として使われています。松山城と言うときは、本来は、一の丸、二の丸、三の丸の全部が含まれるのです。今日は、そのうちの一の丸へ行くわけです。

- 7 この駐車場今日は混んでいるので、バスはここで待機できません。移動します。ただしここからのバスの出発時間は1:45といたします。最初にロープウェイに乗りますが、少し離れているので、バスを降りたら私についてきてください。

- 8 皆さんは今このビルの2階にいます。ロープウェイのケーブルカーは3階から出ています。ここで乗り物チケットと天守閣の入場チケットをお渡しいたしますので失くさないでください。それで先ほどバスの出発を1:45と決めましたが、その10分前の11:35分皆さん一旦ここに集合して下さい。帰りはそうしましょう。全員集合したのを確認して私が運転手に電話します。そして皆様を駐車場へ案内します。

- 9 これをご覧ください。これは俳句の句碑です。正岡子規の俳句が記されています。同時にこれは俳句ポストになっています。ここに口があるでしょう。ここに記入用紙がありまして、これに自分の作った俳句を書いて投函できます。それらの俳句は定期的に集められて、だいたい2か月に一度くらいの頻度で選評され、優秀作品には賞が与えられます。だいたい年間で12,000くらいの俳句が投函されるそうです。

- 10 こういう俳句ポストが全部で111あります。県外に19あります。そのうち5つは外国にあります。一つはドイツのフライブルグにあります。松山市の姉妹都市なのです。ブリュッセルにもあります。EUの本部にあるのです。なぜそこにあるのでしょうか？
ベルギーの政治家に、ヘルマン・フォン・ロンピーさんと言う方がおられます。ベルギーの首相を務め、EUの初代議長を務めた人で、自らの俳句集を出版されたほどの有名な俳句愛好家です。そんなご縁があって、EU本部に俳句ポストがあるのです。その他に台湾に3か所あります。

- 11 山の頂上に出てきました。今は広い平坦な土地になっていますが、もともとここは谷になっていました。それを埋めて平坦な土地にしたのです。軍事演習などの場所として使っていました。あそこに見えるのは井戸です。谷の底に泉があったのです。この場所を埋め立てるときに同時に石を積み上げてあのような井戸を作りました。深さが44mあります。もし仮に敵に囲まれても水は確保できたということですね。実際にはそのようなことは起こりませんでした。